

世界で一番美しい尾根歩き エスプラナーデトラックと カナディアンロッキーハイキング

実施日 2012年8月8日(水)～16日(木)
リーダー 中村 友子
参加者 石附智江、中村友子、石原勝正、
伊藤久雄、関塚七海 計5名
費用 成田空港迄 各自
航空券 ￥187,000
ヤメスカ ￥303,760 (送金料含)
食事(7回)・チップ・酒・その他
￥37,000 合計 ￥527,760
タイム 8月8日 日本出発 同日カナダ
カルガリー着 キャンモアホテル 泊
8月9日 日帰りハイキング
(ラーチバレー) キャンモアホテル 泊
8月10日 エスプラナーデ入山
(パノラマドーム散策) サンライズ小屋 泊
8月11日 (サンドバンプ、コーンピーク、ケルンピーク) サンライズ小屋 泊
8月12日 パノラマリッジ縦走
(エスプラナーデ最高峰Mt.カポーラ) ビスタ小屋 泊
8月13日 エスプラナーデ下山
(トランドルポイント) バンフホテル 泊
8月14日 日帰りハイキング(アイスライン) バンフホテル 泊
8月15日 カルガリー空港より日本へ
8月16日 成田空港着

今回は山行報告を参加各メンバーに1日担当をお願いし、感想も含めいつもとは違った報告とした。

8月8日 (中村)

成田空港PM1:00集合。思ったほど空港内は混雑していなかったが2時間30分からのチェックインにはかなりの時間を要し定刻から30分ほど遅れPM4:30飛び立った。

カルガリー空港に同日PM1:40着、今回通しでお世話になる秋山さんの迎えでキ

ヤンモアに直行。

車で1時間50分を要しスーパーに立ち寄り明日の昼食、山に持ち込む酒等ショッピング。夕食はブラジルレストラン。

シュラスコ料理で多彩な部位肉の食べ放題。明日からに備えスタミナ充分。PM9:00頃になってもあたりは明るく寝不足が始まりそう。



8月9日 (中村)

AM7:00ホテル朝食会場にて済ませ8:30秋山さんの車にてラーチバレー(カラマツの谷)10:00着。何と素晴らしい車窓、次から次に大きな山が現れ、山頂付近には雪渓が残り遠くに見える山には氷河が見られ飽きさせない。



モレーンレイク展望台を廻っていいよ歩き始める。湖の色が刻々と変わり感激。大休憩場所か

らテンピークス(10峰)の一部を除きこちらに迫ってくる。

丘のような鞍部に出てから昼食場所のセンチネルパス(2611m)を見上げ、ため息。PM1:30無事到着、昨日スーパーで買ったサンドイッチの昼食を済ませ30分後下山。来た道を引き返し駐車場PM4:00着。13km6時間



PM7:30より明日から一緒のメンバー顔合わせ含めエスプラナーデの説明ミーティング。

ホテルにて夕食を済ませ本日終了。

8月10日 (関塚)

7:10 ホテル発 隆起した地層むき出しの、2000～3000メートル級の山々

に、四方を囲まれたキャンモアの町を大型バスで出発。

9:10 ゴールデン・ガイドのオフィスに寄り、トイレ休憩、又記念品を調達する人など

10:40 ヘリポート着 荷物預ける。

ヘリがレスキューに出動して、出発遅れる。



13:30 サンライズ小屋全員到着。

コックのニコルさん、ガイドのアリソンさん合流して遅めの昼食。

15:00 散策出発。今日は遅くなったので散策中止？と思っていたら律儀に出発しました。



一時間足らずで小ピーク（パノラマドーム）に達し、そこから

登山道はずれた急斜面のお花畑を一気に下りました。イワヒゲ、ツガザクラ、キキョウ、ウサギギク、インディアンペイントブラシ、ウエスタンアネモネ等々が咲き乱れる中、時々地ウサギの可愛い鳴き声も聞こえてきて楽しく幸せな散策となりました。



16:30 おやつ サウナ

18:30 夕食 マフィン、サーモンのジンジャー風味、ビーツと人参ノサラダ、ポテトとグリーンピース、

デザート 苺、プディングにホイップクリーム添え

23:30 就寝

8月11日（土）（晴）（石附）

サライズ小屋(2130m)での2日目スタート。今日、登頂予定のコーンピーク(2405m)とケルンピーク(2360m)

真夜中に見た星の美しさに感激し雲ノ平の星を思い出す。



日の出6:45を部屋の窓から見、関塚さんと大感激。8:00時朝食。9:30出発。ガイド2人、私達11人。

途中お花畑（インディアンペイントブラシ、アネモネの咲き終わった種状態、アルバ・ギシギシ、ツガザクラ、青ツガザクラ、岩ヒゲ、ゴゼンタチバナ、等等）、雪渓、残雪にウォーターメロン・スノー（スイカ雪）、鳥の声、磨くと水晶になるセキエイを歩く。目の前にシルエットレイクが見えた。透き通る様な青い色とそこに映る山々の景色、スケールのデカイ景色にただ感激するだけです。



湖畔で食べた手作りのサンドイッチ最高でした。しかも12度で寒いくらいでした。



日本は暑いんだろうと思いつつ。パラダイスリッジ(2375m)を経て稜線の景色を楽しみながら14:18コーンピークに着く。ピークからはカナディアンロッキーを遠望する。ここからしかその眺めは味わえないとのことでした。

間もなく2つ目のケルンピークへ向かう。途中雪渓を下り一番高い山（アイコクラフト(3300m)）を眺めたり、なにしろ見わたす限りスケールのデカイ景色に唯感激しどうしてでした。

15:20ケルンピーク到着。360度の夢の様な景色。其処からは私達の小屋サンライズ小屋(2100m)の赤い屋根が見え最高の景色でした。

無事16:10に小屋に到着(13k)。ヤッター！！山小屋でのサウナも初体験、さっぱりし最高でした。おまけに夜には流星群を短時間の20分で5個も見ることが出

来感動しっぱなしです。

今回の山行は、不安でスタートしました。しかし天気にも恵まれたことで最高の体験ができ毎日が期待と感動の連続に変わりました。外食のステーキもおいしかった！！ショッピングも希望が叶いました。良かった！！



参加でき今までの関係者の苦勞に感謝します。そしてこぶし会と今回の中村さん初め、参加者のみなさんに感謝します。

最高に幸せな私でした。参加できて本当によかった。ありがとうございました。追伸 英語が話せたらもっと良かったと強く感じてます。皆さん勉強しましょう！！

8月12日(日曜日) (石原)

サンライズ・ハット(小屋)からビスタ小屋縦走トレッキング

縦走路概要：

サンライズ小屋→(4.0km)カポーラ分岐
→Mtカポーラ・ピーク(ピストン往復)
→カポーラ分岐→(9.0km)レンゾール・ガリー→(11.0km)ビスタピーク・コル
→(13.0km)ビスタ小屋

注:()の数値はサンライズ小屋からの距離

注:ガリー=深い谷、コル=ピーク麓の鞍部
タイム：

サンライズ小屋出発(8:50) パラマウント・リッジ(9:30) カポーラ分岐(10:55-11:10) Mtカポーラ・ピーク(12:00-12:50) カポーラ分岐(13:10) レンゾール・ガリー(14:15-14:30) ビスタ・コル(15:30) ビスタ小屋到着(17:00)

起床：午前6時

天候：快晴、気温13度C、日の出(6:45)

朝食：7:30~8:00

今日も天候は雲ひとつない快晴、気温も13度と快適、エスプラナーデトレッキングのハイライトにふさわしい主脈縦走路の1日を期待して、朝食(マフィン・茹卵・フルーツ・ヨーグルトなど)をとり、ランチ用サンドウィッチと行動食を準備する。

サンライズ小屋から、ガイド2人、こ

ぶし会5人、日本人夫妻二組、カナダ人歯科医夫妻の13人のパーティで尾根筋を目指してお花畑の小路を全員一列になって40分ほど登ると昨日のケルン・ピークとコーン・ピークのコルを通過し、パラマウントリッジ(尾根)に到着する。



尾根に上ると左にコロンビア山群のピークと氷河、右にカナディアンロッキーの山々と大氷河と360度のパノラマを楽しみながら、お花畑の中をスプレッド・ウオーク(お花畑を一列に歩くと花を傷めるので、全員が広く横に散会する方式)で歩き、エスプラナーデ山脈最高峰カポーラ・ピークの麓のカポーラ分岐に到着し、小休憩をとる。その時、休憩場所に近い岩陰で1組のマーモット親子(1匹の母親と3匹の子)に遭遇する幸運を得た。

ここから、メンバーの希望により、カポーラ・ピークをピストン登頂する秋山パーティ7人(メインガイドの秋山氏、日本人夫妻1組、カナダ人夫妻、こぶし会の中村・石原)

と、カポーラ・ピークを登らずにビスタ小屋を目指すアリソンパーティ6人(女性サブガイドのアリソン、日本人夫妻一組、こぶし会の関塚、石附、伊藤)に別れて出発する。

二つのパーティはカポーラ・ピークの往復を除けばカポーラ分岐からビスタ小屋まで同じルートをとるので、秋山パーティはカポーラ・ピークを登ってからアリソンパーティの後を追うことになる。

カポーラ・ピークは350m程の直登ルートで、秋山パーティはピーク直下の広場でランチタイムをとり、ザックをデポして無線アンテナの設置された狭い岩場のピークで記念写真を撮って



カポーラ・ピークは350m程の直登ルートで、秋山パーティはピーク直下の広場でランチタイムをとり、ザックをデポして無線アンテナの設置された狭い岩場のピークで記念写真を撮って



ピークを下山し、カポーラ分岐(分かれた場所)に戻った。結果的に、2時間遅れでビスタ小屋に向けて出発しアリソンパーティの後を追うことになった。

世界一美しいといわれるパラマウント・リッジの高山植物のお花畑、360度に展開したロッキー山群、コロンビア山群と氷河の大パノラマ、眼下の雪渓と透明感のある美しく青い湖を観賞しながら進み、レンゾース・ガリーと呼ばれるガレ場の谷を底まで下って小休止。その後、また尾根筋まで登り返して暫く歩くとビスタ・ピーク(2,600m)を眺望するビスタ・コルに到達する。ビスタ・コルから岩のガレ場と残雪の中を300mほど下り、湖やお花畑を進んでまもなく森に囲まれた赤い屋根のビスタ小屋にアリソンパーティ(4時に小屋到着)に1時間遅れの午後5時に到着した。

ロッジでは、昨日に続きドライ・サウナで汗を流した後、持参したビールの乾杯は格別の味であった。その夜は、コックの二コルさん自慢の夕食(肉料理:ポークのテnderロイン)とこぶし会で持参した白ワインをたっぷり楽しみ、エスプラナーデ主脈縦走のハイライトが終了した。

8月13日 (中村)

AM7:30朝食後昼食作り。8:40ビスタ小屋裏にあるトランドルポイント(2時間コース)へ出発。9:35登頂、全員で写真撮り合い最後の見晴らしに別れを告げ下山。それにしても名残惜しい限りでした。簡単に思える2時間コースもそれなりの急



登そして尾根、山頂付近は岩と中々多彩で注意が必要。AM10:00ビスタ小屋着。

全員で記念写真。AM11:30ヘリコプタ

ーで5分の飛行にてヘリポートに着陸。

次のアルパインツワー11名が入れ替わりに入山して行った。

AM12:00バンフ、キャンモアに向け出発。車中にて各自自作のサンドイッチを食べる。PM1:00バス後方車輪の空気が少ないとの事でスタンドに寄る事になった。修理の為1時間20分も待たされたがコーヒータイムとなりアクシデントも気にならなかった。



PM4:00バンフ内ホテル着。夕食はKEGステーキレストランにてサーモン、ヒレステーキ、ワインと豪華版で本日終了。

8月14日 (伊藤)

タイム タカカウ・フォールズ駐車場(9:30~10:00)アイスライン・トレイル入口(10:40)マイケルピークの裾野(11:30)アイスラインの分岐(12:00~12:10)小休止(12:45)アイスラインのマイケルピークのふもと(12:45・13:15昼食)タカカウ・フォールズ駐車場(15:00)

歩行距離 10 km 出発点標高 1520 m 所要時間 5 時間

今日はカナダトレッキング最終日。エスプラナーデを昨日下山し本日はバンフの町のボービューホテルから車で出発しトランスカナダハイウェイ一号线を、左にストーンマウンテン右にキャッスルマウンテン等2000m~2500m級の山々を見ながら西に約一時間程のアイスライン・トレイルと言う文字通り氷河に沿って歩くという意味のハイキングコースです。

ヨーホー国立公園内にあるタカカウ・フォールズの駐車場に車を止めここでトレッキングの準備をしま

ずは2、3分の所にある滝タカカウ・ホールズを見に行く。ヨーホーリ



バス（川）に架かる橋をわたり落差330mの滝は氷河や雪解け水の水量も多く凄まじい轟音とともに一部が霧状になって落下してくる。この滝から少し戻りヨーホーバレー・ロード（道路）を横断ししばらく歩くとアイスライン・トレイルの入口になる。

ここが本日のハイキングの出発点である。急な坂道を右に左にと1km位登ると左にヨーホー・レイク右に行くとアイスライン・トレイルの標識がある所に出る。



これを右に進む。ここら辺りは日本の山道に似て松林や道の脇には多少形が違いますがウメバチソウ、イテリ

ンドウ、チチコグサ、ヤナギラン、ホタルブクロなどの花を左右に見ながら進み10:40マイケルピークの裾野で小休止をする。

この間晴れたり曇ったり時々小雨がぱらついたり天候がやや不安定でしたがそのまま登っていく。この辺りから徐々に樹木も低くなりトレイル周辺も岩が露出するようになってきた。しばらく歩き森林限界辺りになるとタカカウ・フォールズ（滝）やその滝のはるか彼方にデイリー氷河の素晴らしい展望が山道右手に見えてくる。ここら辺りから砂礫の道となり足場が悪くなる。此处を30~40分ぐらい登ると左にハイライン・トレイル右にアイスライン・トレイルの分岐に出る。これを右に行きモレーン（氷河に削られ推積した岩せつ）をいくつか登る。小さな支稜をいくつか回りこむと突然左前方の視界に氷河の一部が目飛び込んできく。思わず皆でウワーと奇声を上げる。氷河を左手に見ながら平坦な岩が曳きつめられた所をしばらく歩く。12:45氷河の真下アイスラインのマイケルピークのふもとに着く（と言っても危険なところなので数百メートルは離れているが）

此处で前日スーパーで買ったでかいサンドイッチ（日本とはだいぶ違う）を、背後に幅数百メートル厚さ20~30m位はあられると思われる氷河を、又はるか前方彼方に想像を絶する幅数キロ奥行き十数キロは有ると思われるヨーホー氷河を見ながらかぶりつきながら食べた。



一発目の雷雲は我々の方には来なかったが次の雨雲が後方から見えてきたので早々と切り上げ下山を開始した。しばらくすると雨がポツポツと降ってきたので素早く雨合羽に着替えた。直後に冷たくやや強い風雨に襲われ雷も鳴り一瞬不安



になったが30分ぐらいすると雨雲は去りしばらくすると日も差し暖かくなってきた。この様な天候はこちらではよくある天気です。雨は長くは降らないそうです。

15:00タカカウ・フォールズの滝を前方に見ながら無事に下山。ちなみにタカカウとは先住民の言葉で「素晴らしい」という意味でカナダでは2番目、ロッキーでは1番大きいな滝だそうです。まさに今回のトレッキングは「タカカウ」の一言でした。

8月15日 （中村）

昨日に続き2連泊。室内にはクーラーは無く扇風機1台。それでも夜は止めなくてはならぬほど快適温度。こちらではクーラーのある家は少なく秋山邸も昨年12年カナダ在住の後扇風機を購入したとの事。

AM7:00朝食。8:20秋山さんの運転でカルガリー空港まで送り届けていただく。

いよいよカナダに別れの日がやって来た。どこまでも続く緑の平原、真直ぐに

伸びる道、1時間30分のドライブの後、冬季カルガリーオリンピックのボブスレーとジャンプ競技場、立込んだ進行住宅地を見たら間もなく空港。



出国手続きを手伝っていただき秋山さんと別れ、定刻から少し遅れのPM2:45頃飛び立った。

8月16日

PM2:30成田着。入国手続き終了後解散。

終わりに（中村）

中村がこぶし会に入会し日が浅いにも係わらず海外山行のリーダーを引き受けたのは、私がとにかく行ってみたかったからに他なりません。事前に3回のミーティング（飲み会？）で楽しい時間を共にし意気を高め、結束力を強め、強力チームが出来上がりました。

何ヶ月も先の山行にそれぞれの事情がありながら無事全員8月8日を迎え、報告通りの日程を終了し帰国しました。

一般参加のプログラムなので日本人の半田、三田村ご夫妻、カナダ在住イギリス人のフレイジャー、アニータご夫妻、ガイドの秋山さん、アリソンさん（女性）、コックのニコルさん（女性）計14人のメンバーで3泊4日エスプラナーデトレッキングでした。

いつもと違いこぶし会だけで行動しない楽しい山行となり他人とのコミュニケーションがいかに楽しくするか充分感じました。英語もなんのその、体で話せるのもこんな時に限ります。若くて素敵な秋山さんのガイドで毎日歩くことが出来、アリソンさんの計らいでキンキンに冷えたビールにありつけ（雪渓から雪を運んで）、又歩きやすくなる様、木など先回りで切っていただいたりの仕事ぶりに感激し、ニコルさんの素晴らしい料理に、今宵は何かと待ち遠しくなるなどでヤ

ムナスカスタッフにも感謝です。

最終日アイスライントレッキングで多少の雨に出会うも天候に恵まれカナダの自然の雄大さに包み込まれ快適温度の中で幸せを充分に感じる事が出来ました。3年前の若村チームと合わせてもほんの一部の様です。機会があったら又行きたいものです。優しいトレッキングから高度迄色々あると秋山氏。今回のこぶし会メンバーの方々にはご足労お願いしたり、我慢していただいたりの協力で素晴らしい山行が出来ました。

（記・中村友子/石附智江/伊藤久雄/石原勝正/関塚七海）

（写真提供・伊藤 久雄）

